がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン

QOL·がん看護学教育 国際セミナー

リンパ浮腫管理

-世界的な研究者の視点から-



報告書について

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授 小松 浩子

平成 24 年度よりスタートしたがんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 「高度がん医療開発を先導する専門家の養成」事業も4年目を迎えました。 本がんプロフェッショナル養成基盤推進プランでは様々な活動をしています。

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科では、【高度最先端がん医療を支える専門看護師養成コース(修士課程)】【がん看護トランスレーショナルリサーチコース(博士課程)】における教育・研究を推進しています。これらのコースではグローバルな視点から活躍できるがん看護研究者と高度実践看護師の育成をめざしています。その一環としてがん看護学教育国際セミナーを継続開催してきました。

今回のがん看護学教育国際セミナーでは本事業全体で取り組んでいる「がんサバイバーシップ」に焦点をあて、がん患者のクオリティオブライフ (QOL) の向上をめざした「リンパ浮腫管理」について学ぶことにしました。



リンパ浮腫ケアの世界的リーダーであるノッティンガム大学の Christine Moffatt 教授をお招きし、ご講演頂きました。この報告書は Moffatt 教授が取り組んでこられたリンパ浮腫管理に関する広範な研究や、各国のリンパ浮腫管理の実態およびその質を向上させるための取り組みについて貴重な内容をまとめたものです。どうぞご一読頂き、今後の実践や研究に生かして頂ければ幸いに存じます。

がんプロフェッショナル養成基盤推進プランがん看護学教育国際セミナー

リンパ浮腫管理 ─世界的な研究者の視点から ─

第5回 QOL・がん看護学教育国際セミナーでは Christine Moffatt 教授をお招きし、「リンパ浮腫管理」をテーマにご講演頂きました。 医療関係者、学生を含む多くの参加者は熱心に講義に耳を傾けていました。



Seminar Schedule

日 時:2016年2月26日(金) 18:00~19:50

会場: 慶應義塾大学看護医療学部(信濃町キャンパス) 202 号室

司 会:小松浩子 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授)

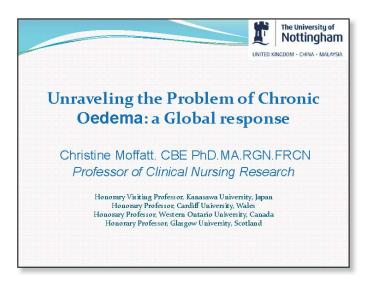
講 師: Christine Moffatt 先生

CBE, FRCN, Ph.D., MA, RGN, DN Professor of Clinical Nursing Research, School of Health Sciences, Faculty of Medicine and Health Sciences, The University of Nottingham

Unraveling the Problem of Chronic Oedema: a Global response

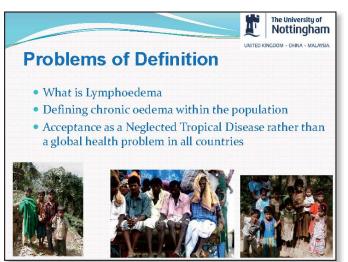
リンパ浮腫管理 -世界的な研究者の視点から-

がんの治療に伴って生じるリンパ浮腫はがん患者の日常生活を妨げる症状の一つです。Quality of life を維持、向上させるためにはリンパ浮腫の予防、管理が不可欠になります。

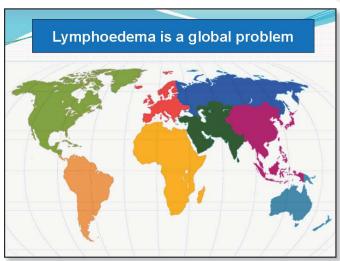


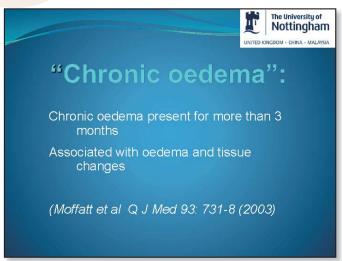


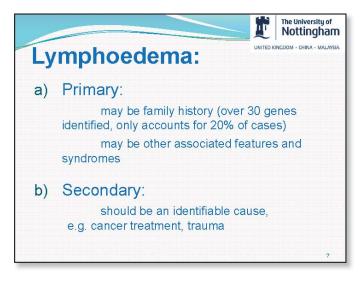




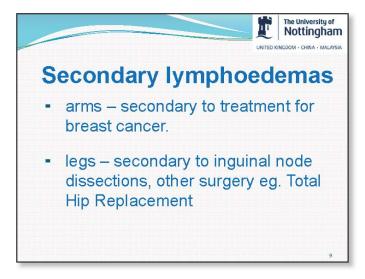






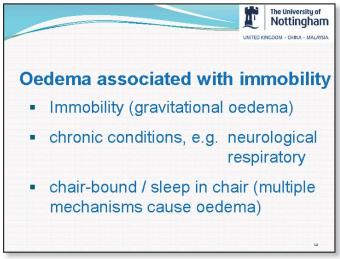




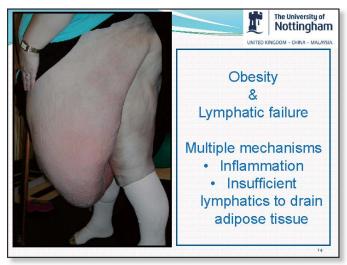




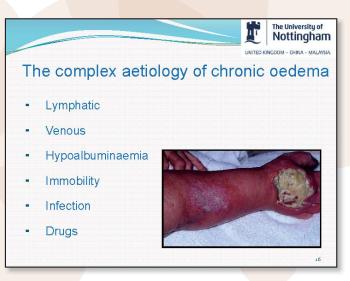




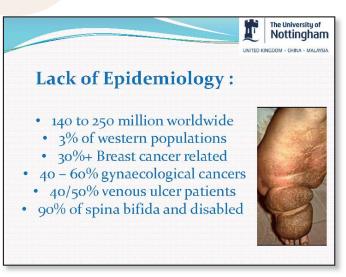




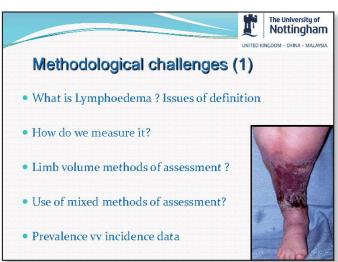


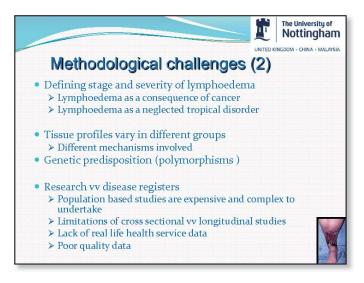




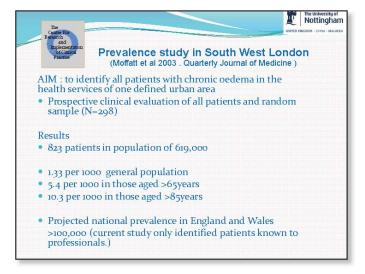




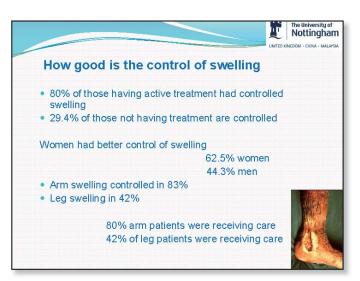


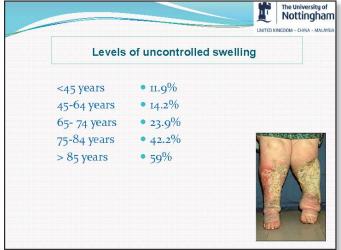




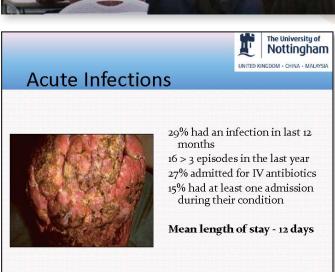






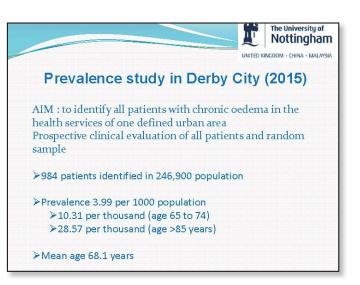


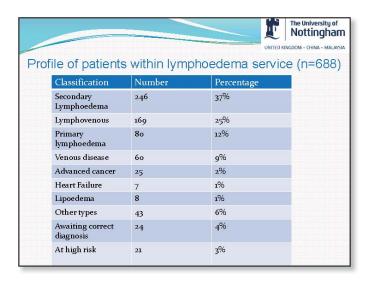


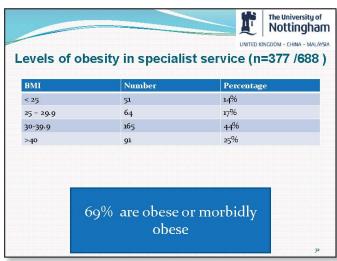


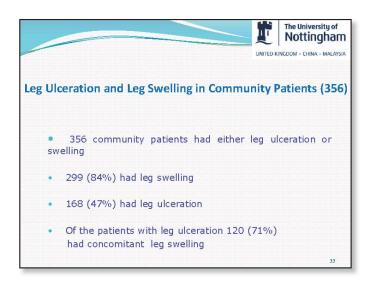


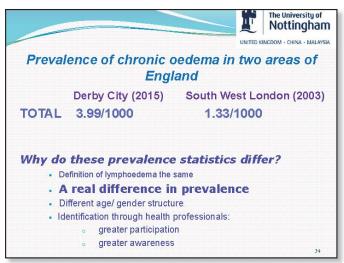




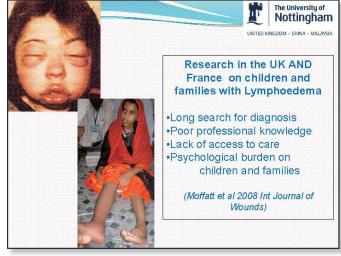






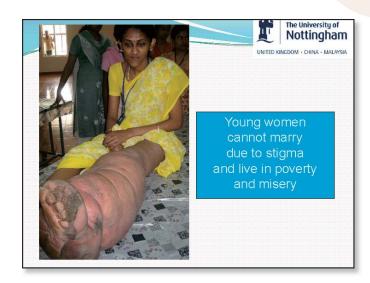






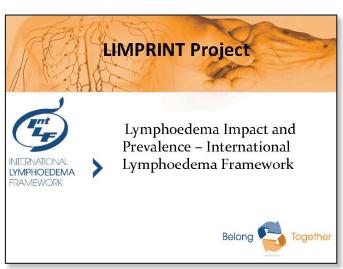


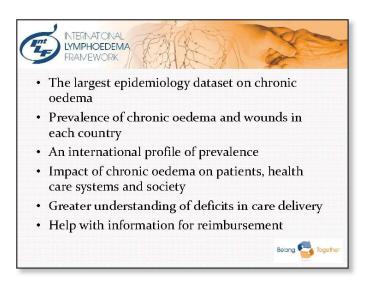


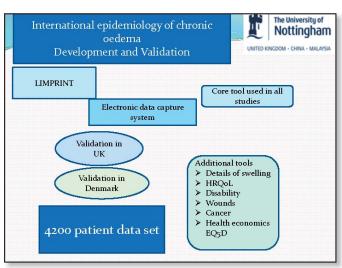


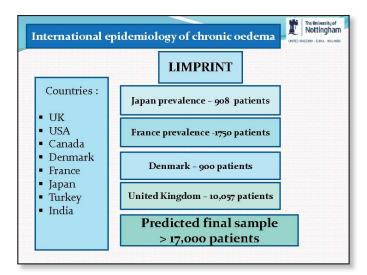


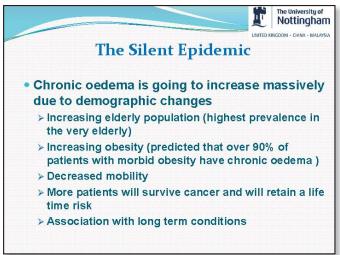


















高度がん医療開発を先導する専門家の養成

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科看護学専修